

令和2年度第1回 浦安市介護保険運営協議会 議事意見まとめ

令和2年度第1回浦安市介護保険運営協議会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため書面による審議とさせていただきました。

委員の皆様にご提出いただきました結果については以下のとおりです。

【議題】

議題については、1～5すべて承認されました。

1. 浦安市高齢者保健福祉計画及び第8期浦安市介護保険事業計画策定
2. 令和元年度介護保険事業等の実施状況
3. 令和元年度 地域包括支援センター事業報告及び介護予防関連事業実施状況
4. 令和2年度地域包括支援センターの事業計画
5. 令和2年度第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託

【意見等】

議題1について

- ・ 計画の策定体制について、前回計画と同様に「計画策定委員会」と「部会」を設置しますが、その役割分担等はどうなっているのか。
 - 委員会は、市役所内部の高齢者施策に関連する部署の所属長により組織しますが、施策事業の方向性や課題を整理して部会に示し、部会から提言された内容を審議し、介護保険運営協議会に諮問する計画案を決定します。
部会については、関係部署の担当職員により構成され、各分野の課題や施策事業の方向性等について具体的に検討します。
- ・ 今回の計画策定にあたって、基本理念・基本目標は前回同様なのでしょうか。
 - 高齢者を取り巻く環境等の変化に応じ変更する内容もあると思われるので、介護保険運営協議会からも意見をいただきながら、検討・策定を進めていきたいと考えております。

- ・ 今後も介護保険サービス利用者数は増加していきませんが、課題を明確にし、介護サービスを充実させるための計画が大切だと考えます。

議題2について

- ・ 令和元年度における介護保険料収納率は100%近くありますが、そのような中滞納者の介護サービス利用時の自己負担割合（給付の減額措置）は、当市独自の取り決めなのか、（県内等での）統一ルールなのかが気になりました。
 - 法律に基づく全国統一の措置となります。
- ・ 第7期計画では、要介護4の認定者が平成29年度と比較し124%になると予測されていたが、実績では低かった。どのような要因が考えられるか。
 - 認定者の伸び率については、国の地域包括ケアシステムにより過去の認定者数などをもとに予測値が算出されていますが、高齢化率の低い本市においては、算出条件が合わなかったものと思われます。

議題3、議題4について

- ・ 高齢化が進む中、職員の人数は適正なのか、5つの支援センター間での支援体制等はあるのか気になりました。（他にも同様意見あり）
 - 地域包括支援センターには、3職種（保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャー）の職員を配置することが必須となっており、現状で基準は満たしている状況ですが、今後の各圏域の高齢者数の増加を考慮し、適正な職員配置となるよう検討しています。
 - また、中央地域包括支援センターは市基幹型の地域包括支援センターであり、他の4か所の各地域包括支援センターの後方支援として、状況に応じて対応しております。
- ・ 地域包括支援センターの運営に関しては順当に進捗していると思われませんが利用者からは名称の分かりにくさもあり、活動内容も含め認知は広がっていないと感じています。
 - 活動は自治会や老人会等を媒介する形が多いが、加入していない人も多い。また、現状は窓口やイベントを設定して「来て利用してください」というようなプル型ですが、上述の未浸透もあり、広範に成果が上がっているとは感じません。もう少しプッシュ型の活動もできたら一層効果が高まると思います。

- ・ 「高齢者が歩いて行ける距離に集える場・サロン」を立ち上げの頃は、参加される方をお客様扱いしていましたが、時が経ち、当時のスタッフが今ではされる側の年齢となっています。

今後は施策「健康寿命延伸」で増えた元気高齢者と一緒に介護予防活動が進められれば、病院がサロンとならず財政的負担も減り、「活動に生き甲斐を感じる」「お互いを少し深く知り合える」機会となり、更にはお互いを見守りし合える間柄にまでなれるように思います。

3.11の時のように、新型コロナ禍で寂しさを感じた市民の多くが、隣の人を気に掛ける雰囲気となったと思われるので、元気な高齢者が、高齢者支援を担うことを呼びかけるには、今がよいタイミングだと思います。

議題5について承認されました

6. 問い合わせ先

福祉部 介護保険課 保険料係 担当 須賀・田中

電話 047-712-6403 内線 15505・15506